

市原市認知症対策連絡協議会 第34回 例会 (2023年度)

日時 2023年9月14日(木) 19:00~20:45

場所 五井公民館 会議室1・2

出席者 30名

司会 飯吉

1. 開会のあいさつ

市原市認知症対策連絡協議会 会長 小沢義典医師 (千葉ろうさい病院)

2. 「市原市成年後見支援センターの業務と市内の後見利用状況について」

市原市成年後見支援センター長 魚本 真理 氏

令和3年度から市原市から受託し開設

①市原市成年後見センターの業務

□制度の普及・啓発活動(パンフレットの配布、市民向け講習会や出前講座開催)

□後見制度に関する相談・支援(職員による一般相談、弁護士による専門相談)

相談が上手にできない方は、千葉県成年後見センターへ依頼し専門職の紹介も実施

<令和4年度活動報告>

- ・支援総数 1885件、内新規相談件数 266件
- ・相談内容の中には、後見を利用している方から「やめたい」「(後見人を変えたい)」という相談もある(理由:相性、制度理解の不一致等)
- ・相談者は地域包括支援センターからの相談が24%と一番多い
- ・相談内容の50%は福祉サービス利用援助事業となっている(後見制度利用の一步手前)
- ・申立支援で申立対象者の73%が高齢者である
- ・相談者は子を含めた親族を合わせると42%で、関係機関としては地域包括支援センターが一番多い。医療機関や福祉施設からの相談は緊急性があるケースが多い。
- ・後見類型のうち、33%が申立途中で中断してしまっている
- ・申立の67%が親族だが、後見類型の候補者は第三者が圧倒的に多い。その中で39%が周囲はサポートが必要と考えているが、本人が拒否するなどして中断をすることもある
その場合は関係機関が何度かほかの手段で支えているケースもある。

□法人後見の受任

- ・社会福祉協議会は現在12名の後見を受任し支援をしている
- ・法人後見候補者の申立は、調整会議での審査を行い、適当と認めた場合に申立される
- ・調整会議には弁護士、司法書士、社会福祉士、市関係課が出席

□市民後見人の養成

- ・今年から市民後見人養成講座を開催(市原市の第1期は9月9日開講)し、20名の受講生がいる
- ・同じ市民目線の市民後見人を新たな担い手として養成する

□福祉サービス利用援助事業(社会福祉法第2条に規定)

- ・手帳や診断がなくても支援の対象になるが、単なる浪費の方は対象ではない
- ・社協と本人との契約であり、本人が望めば解約できる
- ・福祉サービスの利用援助、財産管理サービス、財産保全サービスを行っているが、自分のお金を引き出せなくなることで権利を奪われたと感じる方もいる

②市原市の後見利用状況(令和4年度)

□市長申立件数

- ・高齢者支援課 8 件、障がい者支援課 4 件

□後見利用状況

- ・市内 508 名(R5.3.31 時点)が利用しており、内後見類型が 348 名、保佐類型 127 名、補助類型 32 名、任意後見 1 名である
- ・利用開始の要因(R4 年度)は、認知症 31 名、知的障害 6 名、統合失調症 5 名、その他 22 名
- ・申立件数(R4 年度)は 64 件
- ・609 名(R5.6.12 調査日)が後見人等で支援をしており、対象者との関係性は 170 名が親族である

★質疑応答

○何人の職員が在籍しているのか

⇒6 名。市内全域で福祉サービス支援事業の相談をいただいているが、申し込み後待機の方もいる。市民後見人と今後一緒に活動ができればと考えている。興味がある方がいれば是非。

○鑑定書や診断書を作成する機会は多くない。どんな医療機関で書いてもらうことがあるか。

⇒かかりつけの内科の医師が作成することが多い。内容によっては裁判所から書き直しを指示されることもある(HDS-R の検査等なく「認知症」と書いてある等の理由)ため、適切な医療機関に繋ぐことも必要であると考えている。

3. 「いちほら認知症あんしんフェスタ」と「RUN 伴+いちほら」の説明

- ・令和 5 年 1 0 月 2 9 日(日)開催予定として準備を進めている。
- ・市原アリオと上総更級公園を繋いで開催する。
- ・ポスター(市政 60 周年の記載を追加する)は協賛が確定次第印刷する予定。
- ・問い合わせをいただいた事業所にはイベント前にのぼり旗を設置する。

「RUN 伴+いちほら」について

① 会場の設営

- ・受付…市原アリオから公園に向かう横断歩道を渡った先にある芝生広場に設置。
- ・のぼり旗…コースの分岐点、市原アリオと繋がる道・アリオ入り口にも設置。

② ボランティアの配置

- ・ボランティア…のぼり旗とほぼ同じ位置に配置、横断歩道に 4 名、アリオ入り口にも配置。

③ T シャツ

- ・デザイン作成は高校生に依頼した。
- ・バッグプリントは協賛金協力企業および協賛企業が 16 事業所となっている。
- ・プリントはふるさと学舎に依頼。企業のロゴはプリントが難しいとのことで、文字のみになる。
- ・スポンサーの追加あり。

④ RUN 伴啓発ステッカーを 5,000 円で 1,000 枚作成した。ノベルティとして配布する。

「いちほら認知症あんしんフェスタ」について

①会場の設営

○1階サンシャインコート(屋内)

- ・約 20 坪/約 66 m²
- ・相談系は円の内側に配置、展示系は外側へ配置。

<配置>

- ・テレビ…受付付近

⇒RUN 伴に LINE グループを作り撮影した写真やコメントをみんなで共有し、それを画面に映す。

- ・受付…RUN 伴の会場から繋がる入り口に設置。
- ・ブース…認知症相談、歯科相談、包括、グッズ、薬剤師、施設の入所相談、成年後見(検討中)、介護者の会はなみずきと認知症ケア専門士会、市原警察(高齢ドライバー、特殊詐欺関連)
- ・分包機…受付の付近に設置。子供の目につきやすいところへ。分包機+作業機2列必要。

○1階サンシャインコート(屋外)

- ・ステージと人工芝周辺を使用

<配置>

- ・テレビ…人工芝とステージの間に配置？ ステージ上の構成により検討
- ・スピーカー…専門家と相談する。
- ・アロマの軟膏ブース…アリオ内のスペースに余裕がなければ外に設置することも検討。

②会場の使用時間

- ・7:15 から市原アリオ職員入り口からの入館が可能⇒飯吉さんと一緒に。
⇒20名分の入館証があるので、グループごとに一つ配布し使用してもらう
⇒1階サンシャインコート(屋外)に集合し配布
- ・8:00 から搬入口の使用可能：太鼓、大喜利道具、分包機等。
- ・9:00-10:00の間はリールパーテンションで囲み安全を配慮しての使用は可能。

③備品の使用…屋外のイベント広場の自販機横の扉内にある。

⑤ ボランティア

現在 80 名のボランティアが参加予定。

<駐車場について>

- ・アリオ内にあるスタッフ駐車場は 10 台分(お客様駐車場の使用は不可)。
- ・市役所に相談し、国分寺中央公園の裏にある砂利の駐車場は確保している。

※会場へのアクセスをどうするか<要検討>

意見：

- *ピストン輸送をできるようにする必要があるが、車両と運転手が必要。
- *市役所には最大 10 名乗りの車両があるが、確保は今のところ確実ではない(オッサくんを含めると 5-6 名乗車可能)。
- *RUN 伴は AM の早い時間に集まるため、スケボーパーク側の駐車場は利用してよいのでは。
- *保健センターの駐車場は使用できるか⇒不可

- * 10 台分のアリオに停められる車を決める必要がある(荷物を運ぶ必要がある人等)。
- * バスや公共交通機関の利用を呼び掛ける。
- * イベント T シャツを着用して公共交通機関に乗ることは控えたいという人もいるのでは。
- * 公共交通機関の利用を後から伝えるのはどうなのか。
- * ボランティアのシフトを考え時間差で案内するのはどうか。
- * 施設のデイで使用している車両は使用できるか、運転手、事故の課題はどうするか。

4. いちはら推し活制度「イチ推し」の説明

市原市役所 共生社会推進課 平園 美樹子 氏

- ・ 市民活動団体の活動や市のイベントへの参加、協力店への来店などでポイントが付与される。
- ・ 貯まったポイントは応援したい団体へ寄付ができる。
- ・ 寄付を受け付けている団体に市認協を登録した⇒寄付されたポイントが活動費になる。
- ・ 10/29 のイベント当日には、スペシャルポイント(500 ポイント)がプリントがされた法被を準備する予定。
- ・ ポイントを貯める貯めには、アプリの登録が必要。

5. 質疑応答、ご意見等

なし

6. 閉会のあいさつ

市原市認知症対策連絡協議会 副会長 永野伸一医師(市原市歯科医師会、永野歯科医院)